

「機械安全に係わる設計技術者カリキュラム」Cコース： 必須科目

C3「リスクアセスメントとリスク低減と使用上の情報」講習会

1. ねらい

「機械安全エンジニアC」コースは、厚生労働省【安全衛生教育推進要綱】の機械安全に関連する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム(30時間)を完全に満たし、更に設計技術者と品質保証管理者に学んで頂きたい技術を盛り込んだ4日間の講習会(C1, C2, C3, C4)です。

機械を設計するとき、あるいはリスクアセスメントによって同定された危険源のリスクを低減するするときには、3ステップメソッドに従いかつ国際規格要求に適合する事が世界的に強く推奨されています。

本講習会は3ステップメソッドによるリスク低減方策、すなわち本質的設計方策、ガード・保護装置・インタロック、付加の保護方策および使用上の情報(残留リスク)を解説する設計技術者に欠かせない講習です。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 月 日 () 受付：9時00分より
- 開催場所
- 定員 60名(但し定員に達し次第、締め切ります。)

3. プログラム

時刻		内 容	講 師
09:15 ~ 09:20	(5)	オリエンテーション	
09:20 ~ 11:45	(145)	<講義-1> リスク低減(1) ・ISO 12100(JIS B 9700)、機械の包括安全指針 ・本質的安全設計方策、人間工学 HMI ・基本安全原則と十分に吟味された安全原則 ・ガードによるリスクの低減、安全距離	
11:45 ~ 12:35	(50)	昼食・休憩	
12:35 ~ 13:15	(40)	<講義-2> リスク低減(2) ・ガードによるリスクの低減、安全距離	
13:15 ~ 13:20	(5)	休憩	
13:20 ~ 15:05	(105)	<講義-3> リスク低減(3) ・保護装置とインタロック ・基礎制御、PL、カテゴリ	
15:05 ~ 15:15	(10)	休憩	
15:15 ~ 16:30	(75)	<講義-4> リスク低減(4)、 ・付加の保護方策 ・機械に関する危険性等の通知 残留リスクマップ、残留リスク一覧の作成	
16:30 ~ 16:35	(5)	休憩	
16:35 ~ 17:35	(60)	<演習>	
17:35 ~ 18:00	(25)	総合質疑とまとめ	

*都合により 講師を変更することがありますので、予めご承知ください。

* (C1, C2, C3, C4)の4講習会の終了者にCコース修了証を発行します。

4. 講師

当会のベテラン講師が担当します。

5. 講習会費用

会 員 16,200円 (消費税込) 会員外 21,600円 (消費税込)

今年よりお支払いは銀行振込でお願いしています。

以 上